

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成27年 05月 12日

事務事業名	市税及び使用料等収納対策本部会議開催事務			担当	総務部 納稅課 収稅係					
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			電話番号	0285-83-8115				
施策名	4	財政の健全化			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業					
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠	地方税法、真岡市市税条例、市税及び使用料等収納対策本部設置要領					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成19年度～）				
予算科目	1.一般会計	2.総務費	2.徴稅費	2.賦課徵收費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				
事業概要	自主財源の確保並びに市税及び使用料等の負担の公平性の観点から収納対策を強力に推進するため市税及び使用料等収納対策本部を設置し、市税等の収納対策に係る基本方針と実施計画の策定及び進行管理に関することについて、協議・検討をする。 本部は、本部長（副市長）、副本部長（総務部長）及び部員（市民生活部長、健康福祉部長、産業環境部長、建設部長、会計管理者、水道部長）で組織する。 また、より具体的に協議又は調整等を行うため、本部に推進班を置き、収税課長（班長）、企画課長、稅務課長、国保年金課長、介護保険課長、児童家庭課長、環境課長、建設課長、下水道課長、水道課長で組織する。									

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）  26年度実績 市税及び使用料等収納対策本部会議の開催。 市税及び使用料等収納対策本部推進会議の開催。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
27年度計画 26年度と同じ。	ア：収納対策本部会議の開催	回	2	2	2	3	2
	イ：収納対策本部推進会議の開催	回	1	1	1	1	1
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等  市税及び使用料等収納対策本部員及び推進員。	ウ：						
	エ：						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）  市税及び使用料等の収納率等に関して正しく認識し、収納率向上のための対策を検討する。	オ：						
	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）  市税及び使用料等の収納率向上により、財政の健全化を図る。	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：収納対策本部員	人	6	6	6	6	6
⑤上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移	イ：収納対策本部推進員	人	11	11	10	10	10
	ウ：						
⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移	エ：						
	オ：						
(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	財源内訳	県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	5	5	5	0
	事業費計（A）		千円	5	5	5	0
	人件費	正規職員従事人數	人	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	15	15	15	0
	人件費計（B）		千円	64	63	61	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	69	68	66	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		市税等については、平成14年より開催していたが、市税及び使用料等の収納対策を強力に推進するため、収納対策組織を全庁的な組織に拡充して、平成19年度より開催。					
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		収納率は若干の改善が見られる。					
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？							

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 収納率向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 徴収強化のため。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 関係部課長であり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 収納対策について十分協議・検討している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 全局的な収納対策ができない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議資料の作成費のみである。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 税負担の公平性を確保するためのものである。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合  <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果  ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								